

## ●子育てについてうかがいます

子育て支援について、あなたのご意見、困っていることなどお聞かせください

- ・現金をもらっても根本解決にはならない。働ける環境を整えたほうがいい。(30代女性)
- ・育児は母親の義務、他人(保育園など)に負かして、働きに出るなど、間違っている。子どもの情操教育に母親は必須。母子家庭ならやむを得ないが。(60代男性)
- ・不妊治療の全額国負担にしないと少子化がストップしない。(40代男性)
- ・保育施設に入れなくて、子育て支援に子どもの祖父母が駆り出されることが多い様です。そのための手当てを少しでも出したらどうでしょう。(70代)
- ・なぜ保育園、保育園というのですか?3年制保育は私立幼稚園のみで(高額)、なぜ公立幼稚園は2年制?おかしくないですか?3歳から他人の手も借りたいのに私立に入るのには倍率がある。公立もあれば落ちることもないのに。近場がないから、園バス利用できるところはどこも高倍率。巡回バス作って私立の定員割れのところをなくす。3年制公立幼稚園に入りたい。(30代女性)
- ・子育ての経済的支援(医療女性や保険料就学助成等)には所得制限をしないでほしい。子どもは皆一律にという考えで行なってほしい。(40代女性)
- ・親として、自分の子としての自意識が強い割にしては他人への迷惑はさける気構えが薄くなっているように思う。他人の子といわずに皆で注視して、いい子に育てよう、未来のために。
- ・兄弟姉妹4人で自営業でしたが親が仕事をしながらその時代何の援助もなしに必死に育ててくれました。親の愛情もわかりましたが、今の社会、国が何でもやりすぎ、私は子は自分で育てる事が教育にも、子が自立したときに責任を持つことができるし、今の親は国に頼りすぎ、国が人生をだめにしている。援助の仕方が間違っていると思う。(女性)
- ・今の世の中自分の子どもを育てるのにどうしても国をあてにし、何かを求めることばかり。親が楽をして子どもにしてあげても、良いことはありません。昔から親はどうして子どもを育てたかをもう少し議論してみて。(女性)
- ・少子高齢化社会において、子どもは社会の宝だという共通認識が必要だと思います。行政の側にもコストという意識は捨ててほしいと思う。(男性)
- ・私は「ばあば」ですが保育園を増やし、孫はいい環境で育ててほしいと思います。(60代女性)
- ・幼稚園の補助金は所得制限をなくしてほしい。うちはギリギリ何の補助もない。(30代女性)
- ・仕事をしたくても子どもの病気などが多く働けない、母子家庭の家は大変です。(30代女性)
- ・給料安くても共稼ぎできれば大丈夫。中小企業も助かると思う。(70代)
- ・子どもを生みたくても、産科も近所がないし……悩んだ挙句生めない。(30代女性)
- ・子ども手当てでとりあえずは給食費を強制的に徴収させるようにすればいいのに、と思います(パチンコとか携帯代に消える可能性高し!)。あとは体育着とか運動靴とかちゃんと子どもに使ってほしい!!(40代女性)

- ・品川区は保育に入りづらい。これから子どもができたなら入れるか心配。正規ではなく派遣の先生も多いと聞く。正規でちゃんと見てほしい。(20代女性)
- ・もっと安心して子育てができる環境を整えてほしい。子どもがいても低料金の保育園がなければ、母親は安心して働きに出られない。(男性)
- ・母子家庭の医療費は所得制限なく無料にするべき。その他手当についても所得制限はなくすべき。(女性)
- ・自民党の小泉さんの意見に賛成。今国が赤字の時に何で4月より子ども支援の費用を出すのか、考えられない。給食費も払わない人が多い中、甘すぎる。鳩山さんは辞職するべき。自分を売り込む総選挙前のマニフェストの一つとして国民の血税を自分のお金を出す感じで、平気な顔して票集めするなどもってのほか!そのため何かの税金を上げる追いかけっこの感じ。自分で生んだ子どもはしっかり苦労して育てる。年収の高い人たち一律だとは驚き。貧しい家庭の支援ならともかく、鳩山さんは頭おかしい。民主党は選挙で今回かなり支持率が下がると思う。共産党をずっと支援、応援してきた私たち。近所の方々にも声かけしていますが、もっと前に出て訴えて下さい。引きすぎ!嫁が、お金はほしいが国が安定しないのにいらぬといっています。立派だと思いました。消費税が上がることは義母さん、老人にとって負担になるとの意見です。鳩山よりえらい!国会中継の(NHK)放送をしっかりと見えます。前から共産党応援しているものもたくさんいること忘れないで下さい。ガンバレ!(女性)
- ・子育て支援については賛成ですが、子どもがいない家庭では子ども半数の負担は大きすぎる。
- ・民主の子ども手当は廃止すべき。
- ・そもそも、結婚相手がいません。でも子どもは好きです。変な意見ではなく。(30代男性)
- ・品川区の実態を知りませんが、収入条件が厳しくなっていることも事実で、夫婦で働いて乗り切ろうとする家族の障害になっているのが保育園不足にもあるのは残念。(40代女性)
- ・子どもを持った女性が職業上の差別を受けない法整備を強化すべき。
- ・空きスペースがあるのでそれを利用して箱物をつくることなくす。保育士増も箱物を作る金で。(60代男性)
- ・我が家は幸いにも保育園に通わせていただいて感謝しています。子どもが0~3歳までは本当に大変でした。0~3歳までの家庭に対する支援(上記の問題)を充実させないと少子化は加速する一方ですよね。保育園の増設や幼稚園と保育園の連携で施設の確保など、できることはたくさんあると思います。(30代女性)
- ・定員割れしている小学校を利用して、保育部(0~5歳)を作れば費用が少なくて済む。また、その中で夜間延長保育も取り入れ、母親が安心して働ける環境を設置する。保育ヘルパーの育成も同時に行う。(男性)
- ・子どもは可愛いから育てられるのです。可愛い子どもを安心して育てられる環境をみんなで相談し、強化しましょう。(男性)
- ・子育て支援・保育問題については、待機児問題や保育所の増設問題についてのことが扱わ

れえることが多く、その反面、現場の保育士の労働環境がメディア取り上げられることが少ないように思います。このあたりの問題がもう少し語られるようになってほしいと思います。(30代男性)

・子どもを持たない女性の何割が不妊症で悩んでいるかを国はわかっているのでしょうか? 私の周りにはそういう方がたくさんいます。仕事をしたいから子どもを作らないと決め付けてはいませんか? 欲しくてもできないのです。高額の不妊治療費を払えるサラリーマン家庭はなかなかありません。子育て支援もいいですけど、まずは産みたいと思う人が産むことのできる力添えがほしいです。保険がきかないなんておかしいです。不妊治療をもっと身近にできれば、子どもの数は増えます。不妊の女性が2人ずつ産んだら育てられない経済状況の人なんて逆に少ないのです。政治家の方はお金をもっているから不妊治療が普通の家庭にとってどれだけ負担になるか分からないのでしょうか? 私は何人かの政治家の人にこの話をしましたが、まるで改善されなく、悲しいです。(40代女性)

・定員も増やすなら、スタッフも増やす。(20代女性)

・保育園に預けて働かなくとも、子どものそばでいられる母親を増やす方向が良い。昔のように近隣のふれあいで子どもが育つ時代に帰ってほしい。

・赤ちゃんを連れて出かけ、他の人々とふれあうことのできる施設を各地域につくっては? そこで相談をしたり、情報を得られたり、またただ子どもを遊ばせたりできると、核家族での子育ても心強いのでは? 学生やお年寄りのボランティアの場にもなればと思います(日本では世代の違う人との交流の場が少ないので)。(40代女性)

・産んだ子どもは自分で育てること! 今の子どもは甘やかしすぎ! 昔は新聞配達、牛乳配達をして学校にいった!(男性)

・空きスペースを利用。(60代)

・私たちの代では子育て支援などなくても子育てしてきたので、子どもが小さい頃は短い期間なのだから、ちゃんと自分達で子どもを育ててほしい。(50代女性)

・保育士に負担がかかるため、安全面を考えても定員増絶対反対。(20代女性)

・子どもを産める病院が少なすぎます。友人から子どもを産むのも予約制だと聞いて本当にビックリです。今後娘がお産をするときにどうなっているのか不安です。(40代女性)

・もっと税金投入すべき。対応が遅い。若者が子を産みやすくなるような政策をすぐ実行すべき。(20代男性)

・子育ては最優先すべき大切なことだと思います。(80代以上男性)

・子どもを持ちたくてもできない人もたくさんいます。子育て支援も良いけれどもそればかりが目立ちすぎ。いない人の負担も大きいのではと考えてしまいます。できない人たちの気持ち多々考慮して、高齢者への支援を優先してほしい。(50代女性)

・待機児を入れれば良いのではないのです。十分大切に育てられれば心豊かに落ちついた子達になります。今の保育園現場はまるでベルトコンベアーに子どもを乗せてケガ、クレームのない様に手早く保育する感じの様に思います。子どもとじっくり向き合っ過ごす時間、

スペースが不可欠ですね(人的問題)。

・どちらも増やすべきだろう。(80代以上男性)

・経済的に苦しい家庭の親が、安心して保育を頼めて職が得られれば子ども手当はいらないと思います。ブランドを子どもに着せている家庭に何故子ども手当が必要か!?

・昔は子どもが5、6人いるうちは当たりまえだった。私は幼稚園に行ったがほとんどの子は行かなかったが普通の大人になった。どうなのかな。今の世の中どうなっているのかわからない。(男性)

・私は34才の娘が一人しかいません。その子は仕事(バイト)をしているが「未来に希望が持てない、結婚したくない」と申します。男社会から共に男女がいたわり、思いやる心も大切だと思っております。(60代女性)

・子どもはいないのでよくわかりませんが、テレビ、新聞等をみて心配でしょうと思う。(70代)

・Qは現実的に考えて2にしました。(50代男性)

・子どもがいないのでわかりません。

・「認可」という概念が間違っている。一定のレベルを期待するなら「認定」に変えるべき。実態に対応できていない。行政に「認可」する資格はない。

・小学校、中学校が空き教室があるので受け入れると思います。今ある保育園に入れると目が届かず事故が心配。

・当面、この問題について当事者ではないのですが、昔あったような地域の集会所やお寺、教会などを開放しての「子ども会」のようなものがあれば、何らかの形で関わりたいとの希望を持っています。子どもを持っている方と持っていない方との隔たりがどんどん広がっていつている大人の社会が心配なのです。

・子どもを産み育てるためには、ある程度収入が必要になるので、仕事を続けたいと思っています。子どもがいても仕事ができるように支援があれば、是非子どもをもうけたいと思っています。認可保育園を増やしていただきたいです。(30代女性)

・インターネット、TV番組、及び有害ビデオの規制をやるべき。

・お金をかけないで定数を増やすようなことはやるべきではない。子どもたちがのびのびと動き回るスペースが必要。行政は子育て支援にお金を使うべき。(男性)

・幼保一貫は何のために作られているのかわからない。幼に合わせた行事等には保の父母は困っている!!(40代女性)

・職の高齢者が多くいる現代社会なのに、必要とされていません。もっと年配の力を借りてはどうですか?時間はもてあますほどあります。(女性)

・①仕事の関係で遅くなってもあずかれる子ども達を保護の法律がほしい。②勤務先に「子育てする施設」があるが認可保育園をつくってほしい。③医師と保健士さんを望む。(女性)

・子育て支援金を支給しても、学費、給食費、保育費きちんと払うのでしょうか?疑問です!保育園の増設にした方がいいと思いますが?(50代女性)

- ・既保育園の定員を増やし、保育士さんも増やしたらどうでしょう?(60代女性)
- ・毎年300人からの待機を出している。認可保育園の増設を考えるべきです。(50代男性)
- ・幼保一貫を多くされると思う。(30代女性)
- ・何事も、困ることはつきもの。自分の責任をとらえて行動する。
- ・現在妊娠中で検診の補助制度などがあり助かってはいるが、それでも通院費用など、保険がきかない分、かなり負担になる。生まれる前から子育てにはお金がかかるなあと改めて実感。(30代女性)
- ・区立の保育園は最も保育士の質が悪いので全廃して、そのために保っている費用を認可保育園の助成にまわすべき。(30代男性)
- ・子ども手当は不要。(30代男性)
- ・若い夫婦は低資産、長時間労働ですから、まず労働条件を改善すること。産前、産後の有給休暇を増やすこと。安いできれば無料の公共保育園をポストの教訓上に増やすこと。(男性)
- ・日本の経済は東京が中心で、東京への単身になっている。子育てといいながら別の負担が大きく子どもと一緒に生活できない。仕事を変えると収入が減るといったことになっている。東京一極集中をとめるべき。また企業へも単身期間の規制などの労働法の締め付けなどから子育て時代の20代後半～50歳ぐらいの年代の単身を少なくさせるべき。(男性)
- ・子ども2人を保育園に9年間託しました。仕事と育児は日々綱渡りのような危ういところで、なんとか両立を保ちました。自営の人と通勤の被雇用者とは、保育園への期待の度合い、内容が一致しなかったことを思い出します。もっとゆとりがあれば対立することもないのにと思った9年間でした。
- ・昔に終わってしまいましたが、今は預かるところもなかなか働けない母親のために、かつて保母や助産婦等の経験者(年令ではなく健康な方なら)に、どんどん手伝ってもらい主要駅や区役所の中に空きスペース(作る気ならできるはず)つくって助成していかないと、ますますこのデフレスパイラルは改善されないと思います。(60代女性)
- ・保育に係わる仕事をしておりますが、いまの待機児童の急増は主に経済的な理由(夫の収入が減った→妻が働きたい)という一時的な理由がとて多いようです。夫の収入が減ったといっても暮らしに窮するような人はほとんどいません。単に今までのように旅行ができないとか高価なものが買えないとか、私から見ればわがまま、贅沢な理由に思えます。一時的な理由で「箱もの」を増やしては後々状況が変わったときの負担となりますので増員で対応でよいかと思います。(40代)
- ・もっと子どものために国はお金を挙げるべきだ。子どもがいなくなるぞ。マジで死にたい。本当に苦しい。(30代男性)
- ・私は今子どもはいませんが、周囲はみんな子どもがいます。仕事を続けながら子育てをする苦勞を聞いていて毎日不安です。経済的にも……会社も子どもを産んだら今後同じような環境でできるか不安です。人として女性として本当に素晴らしいことなのに……。社会と

- して子どもを産んだ女性を助けていかななくてはいけないと思います。(30代女性)
- ・現実、夫婦共働きしないと生活できない家庭が多いと思うので、子育て支援の充実は不可欠だと思う。(男性)
  - ・仕事を持っていなければ保育園に預けられず、保育園に預けなければ仕事も決まらず、といった悪循環。(40代男性)
  - ・大学生に対する支援がゼロに等しい。経済的に苦しい。(50代女性)
  - ・認可保育園の増設をお願いします。安心して子どもを産み育てられ、共働きでよりよく生きていくために必要です。子育て社会に出て少しでも役に立ち生きていくことが私の生き方です。(30代女性)
  - ・保育施設の増強を切に願います(数も質も)。(30代男性)
  - ・子育てに携わってほしい人もいると思う。保育園を増やすだけでなく、経済的に裕福になれば(楽になれば)働かずにすむ。子どもが小学校高学年まではそばにいてあげたい。私は0歳で保育園に預けられていました。とても寂しかったです。(30代男性)
  - ・子育て・高齢者に目を向けられているが、学生の就職活動、若者の就職活動に配慮がない。子育ての支援には評価できる。なぜなら、若い人たちの労働力が今後の経済成長に貢献するから。(20代男性)
  - ・共産党としての福祉として、保育としての設備を作る予定はあるのか?ないのか?洗脳されると困るが。(男性)
  - ・産科不足は今後子どもがほしいものには不安の種。小児救急も不安。東品川エリアは「幼稚園不足で入園できないのでは?」と話題です。公立幼稚園は通園の可能な地域が限られるので、定員割れの遠くの幼稚園に割り振られても実際は通えない。増員、増園を。(30代女性)
  - ・一生独身者です。(女性)
  - ・私は持病があり、将来子どもが生めない可能性が高いです、そんな私の税金をよそのお子さんの子育て支援のためにばら撒かれることに不満を感じています。「子どもを産めばお金がもらえる」では子どもが産めない私は何をもらえるのでしょうか。よそのお子さんのためにただひたすら働いて税金を納めていけばいいのでしょうか。(30代女性)
  - ・保育所の費用が高い。共稼ぎであれば、すぐに最大額までいってしまう。少子化をなんとかしたいのであれば、保育園の充実及び保育料を減らすような経済的負担の軽減をすべきである。民主党の子ども手当では増額する保育料で相殺されてしまうため共稼ぎ世帯には何もメリットがない。また手当てより控除の方がメリットがある人もいるので世帯収入により、手当てと税控除を使い分けるシステムが最もいい。(30代男性)
  - ・子どもが欲しくてもできない人のために不妊治療等の金額を何とかすべき。今いる子どもだけのことを取り上げすぎ。(30代女性)
  - ・実際、子どもを持つ知人からは保育園に入れないと聞きます。お金(税金)を個人にばら撒くのではなく平等に充実した施設等に投資すべき。(40代女性)
  - ・過去の経験から保育園待機はなくしたい。(60代女性)

・保育士の方々の人数削減、パート化などの就労状況を区は改善すべきだと考える。教育の根幹に国民から預かった税金を還元しない国は、やがて衰退することは、歴史が証明している。人間を育てることの責任感に国も国民も加速度的に欠けてきていることを憂える。

(40代女性)

・どうしても経済面の不安があると子どもを持たない。東京で育てると子どもがかわいそうな気がする。遊び場がなかったりするから。(30代女性)

・経済的支援も必要だが、働き続けていける職場を整える必要もある。社会全体が変わっていけば、良い方向に向う。(40代女性)

・簡単に結婚、離婚できる環境そのものがまずおかしい。モラルの低下や、家族制の方がいい。そこから根本の見直しが必要。環境ばかり整えて、親を甘えさせる社会そのものが問題だと思う。(男性)

・子どもができて安心して働き続けられる社会的な制度をつくる。また、保育施設、父母、地域が三者が協働して、子どもが道徳やしつけ、社会を理解し、明日を担う人間に成長できる仕組みづくりが必要です。(男性)

・「母子家庭」と母子ばかり優遇されて「父子家庭」はないがしろにされています。どうしてこのような差別があるのでしょうか。男女平等のはずなのに……。どちらかといえば父子のほうがいろいろ大変に思いますが。一概には言えないのはわかりませんが。(男性)

・共働きなので遅くまで子どもを預かってくれるところがほしい(そこで働いている方も大変かと思いますが)。(40代男性)

・どうしても働かざるを得ない方、母(父)子家庭の方を優先すべきだと思います(特に区の保育園においては)。(女性)

・贅沢のために母親が働くことには反対です。一番愛情を注ぐ時期だと思うからです。生活のためどうしても働かないとしたら、職場に保育場を作る(ヤクルトさんのように)ことを会社に求めたいです。そんなことを国が民間に提案できるよう、国はもっともっと私たちの生活レベルを理解してほしいと思います。(40代女性)

・長い目での計画実行がなさすぎ。見栄だけではダメ。(60代男性)

・教育の質を下げるべきではない。GNPがどうであれ、この社会の生活のゆとりのなさは悲惨。(20代女性)

・暇な老人がいっぱいいるから活用すべき。(50代男性)

・2人目、3人目と出産時に上の子を預かってくれる体制を充実して頂きたいと思います。母親が安心して出産ができるように考えて頂きたいです。(50代女性)

・高齢者施設に子育て機能を果たせる。その逆も可。(70代男性)

・安心して安全な保育園に預けられるように早く整えてほしいです。(30代女性)

・遊び場をデザインして誰も使用しない物を作るくらいなら、広場を整備して運動場を作ってほしい。(50代男性)

・家計がきつくて保育園に子どもを預けたいのに、待機児童が多すぎて預けられないです。



で、その家庭の持ち出し分が少なくて済む。このあたりに不公平感を感じます。高所得者はその分税金を払っているのだから保育料は一律でいいように思います。特に東京においては、家賃 or 住居費が高いので高所得者の設定金額を引き上げるべきだと思います。教育 etc 子育てに関する費用は国で補うべきだと思います、将来その子たちが税金を払い、国を維持してくれるのですから。(30代女性)

・まさける宝 子にしかめやも。日本を背負って行く子ども……もっと真剣に「安心して育てられる」社会を築くべき。(男性)

・親としての教育ができていない、親としての教育を強化すべき。(40代男性)

・区立の幼・保一体による幼稚園受け入れ人数の減少は幼稚園での教育を望む人にとってマイナス。(40代男性)

・今は少子高齢化という言葉をよく聞きますが、国の宝、子どもが少ない。このままでは、本当に国の将来も心配です。反面、高齢者何も役に立たない邪魔者扱いされているような気がします。そのつど淋しい気もします。現代これだけの大都会になったのは、昔田舎から若い人たちが上京し、働き、がんばったからといっても過言ではないと思います。今その田舎地方にも子ども、若い人がいない。都では失業、また、保護者が簡単に増えている。若い男女にぜひともがんばってほしいと願っています。(男性)

・子育て支援に現金支給を決めているが、やめたほうがよい。親が目的外に使用する。代わりに教科書、教材、昼食費、修学旅行などなどに、直接国が学校に払ってやれば公平な支援になる。(男性)

・子どもを持つにあたっての情報をどのようにして得たらよいかわからない。(30代男性)

・受入施設が増えれば働く人も増える。定数増だけでは遠方の園に入所せざるを得なくなり、送迎時間の確保・負担が多い。本当に少子化を止めたいければ、認可園を増やさなければ仕事を続けながら子どもを産み、育てることはできない。(30代女性)

・子育て支援で1人定額が支給されるが、子どもがほしくて治療を受けているのには保険もきかない。高額の治療費を払っている。その家庭に支給するのではなく、教育費に直接いくシステムを作るべきだと思う。家庭に支給しても子どもにつかわれないことも考えられるから。(30代女性)

・子育て中の働く母親を職場全体で守れるような状況を作れるようにできたら。現状はやめざるを得なくなったり、非常に辛い立場で働く人が多い。(30代女性)

・品川区の公園は手入れがよくない。砂場は汚くて入れられない。(30代男性)

・子どもの小さいうちは親に育ててもらいたい。保育士の質も問題です。「あんな保育園には絶対子どもを預けたくない」、そんな保育士に何人も会いました。(60代女性)

・保育する先生、試験に合格しても人間性において疑問な人います。(60代男性)

・子どもを持つためのコストがかかり過ぎる。義務教育終了までは国、地方自治体が大部分のコストを負担しないと、ますます子どもを作っていく夫婦の数が減少していく。(50代男性)

・子育ての前に、産む場の充実を。医師、助産師に相応の対価を、待遇を与えなければ、産む場所が無くなる。公立幼稚園を無くさないで。子どもを預けるのに働かなくてはならないのはおかしい。先生の労働状況の悪い金もうけ優先の私立には子どもをまかせられない。(30代女性)

・子どもを産みたくても産めません。育てられるだけの十分な条件がとてありません。まず結婚することが必要ですが、私一人の収入じゃ(夫だけでも同じですが)とても家族は維持できません。がんばって共働きにすれば何とかかなと思います。それでも2,3人と子どもは難しいでしょう。お金の負担がそんなになく安心して子育てができる品川区政を早く作りましょう。女性は出産にはリミットがあるので早めにしていかなきゃと常に思っています。(女性)

・子育ては終わりました(80代以上)

・品川区は保育園入園者(待機児)に向けての取りくみはみてとれますが公立保育園の質が悪い。保育士が働きすぎで子どもをみれていないのでは。正規以外の人が多すぎると感じる。(女性)

・子ども手当はまず不要だと思っています。弁当に困る家庭にのみ支給すべきでしょう。上限は高く見積もっても500万円(年収)にし、不足している保育所等を増すべきで、26000円は止めるべきです。せめて月10000円まででストップして下さい。多くの方(子持ち)がその様におっしゃっています。年収500万以上の方は「旅行、ブランドバッグ(母)を買う」と言っています。「民主党のマニフェストにしがみつくのは止めて!!」と言いたいです。(70代女性)

・定員を増やしてすぐに解決する問題ではありません。二人の子どもたちは認可保育園にお世話になり現場で働いている保育士の大変さもよくわかっています。負担は増え辞めたり、質は落ちていくと思います。14年前、「福祉の品川」と聞き新宿区から越してきましたが品川も落ちたものです。(女性)

・町に子どもがいない。町の構造が子どもに合っていない。ユニバーサルデザインも子ども用が少ない。(男性)

・保育所はすでに満杯なら、これ以上定員を増やすにはスペース的にも職員的人数的にも厳しいということでは?(20代女性)

・定数を増やせるのなら増やし、それと並行して増設するべし。父子・母子家庭の支援の問題で、今から30年前、子どもが保育園に通っている頃、手当てがほしいのでわざと離婚した人を知っている。区民の方がしたたかです。注意。(50代男性)

・入園待ちの状態では復職もできず、経済的にも困ってしまう。(30代女性)

・どんなに働いて稼いでも、生活が苦しい。(30代女性)

・悪平等には反対。(貧困かどうかよく調べてみて)給食費も払おうとしない家庭には支援の必要はなし。(男性)

・障害のある我が子を受け入れてくれる幼稚園がなかった(3年保育を希望していたため、区

立幼稚園を除く)。もっと「統合保育」を当たり前にするべきだと思います。(男性)

・自衛隊費を削って保育園を作る。今は高齢者が邪魔にされる。今の 90 歳代高齢者は軍や天皇の命により戦争に出された。日本を戦争で破壊、敗戦、家、食物、金、仕事ない廃墟の状態から生き残った人達。(男性)

・未婚だが子どもを産んでも仕事を続けたいので、もっと子育て環境を整えればいいなと思います。(20 代女性)

・子ども手当絶対反対。(男性)

・それ以前の問題。(30 代女性)

・子育てを安心して行うためには親の生活の安定が必要。総合的支援を考えるべきだと思います。保育内容もここ 20 年何の改善もないのはなぜでしょうか。

・こんな時代に子どもなんか産めない。(30 代女性)

・支援対策が少子化対策にもなりうるレベルのものにしてほしいものです。(60 代男性)

・ドイツを始め、諸外国では正規社員で在宅勤務や短時間労働が認められている。1つの仕事を 2~3 人にワークシェアするなど、さまざまな形での働き方を認めていけば働きやすいはず(女性)。

・夫婦で働くことが可能になれば収入アップにつながる。消費もできるようになっていくはず。(男性)

・現在妊娠中だが、産院・産婦人科の医師が少なく、妊婦検診の待ち時間が長すぎる。仕事を持っている身としては土曜も検診をやっている病院を増やしてほしい。(30 代女性)

・公園でボール遊びもできない。規制ばかりの中でゆったり遊ぶことなどできない。遊んで学ぶことはたくさんあるが、自由に遊ぶ場があまりにも少ない。キャッチボールやサッカーはクラブに所属しないとできないものなのではないでしょうか?(40 代女性)

・子どもを産む時に仕事ができない期間の生活保障がないのが心配。育児中も子どもが中学に上がっても具合が悪くなると引き取りにいけないといけない→仕事休む→収入が安定しない。(女性)

・認可保育園の増設が増税につながらないようにお願いします。消費税 UP は自分の支出の調整でどうにかなるが、所得税、住民税のこれ以上の UP は勘弁してください。(男性)

・一律支給の子ども手当は反対!お金のバラまきより子育てするためのインフラ整備など環境条件を良くするために税金を使うべきだ(本当に困っている人に役立てるべき)。(50 代)

・中学までは全ての医療費を無料にすべきである。また、教育に関わる全ての費用無料化をすべきである。(男性)

・必要な人には母子・父子ともに支援するべき。必要でない人をきちんと調べられないのか(周辺にはたくさんいました)?収入あり、支援する人あり等必要ではないと思う人がずいぶんいましたが。(40 代女性)

・介護は人手不足なので、介護で働いてもらう人のための保育園を作ったらいいと思います。母親が安心して働いて子どもは少人数きちっと教育もしてくれる場所があるといいと思

ます。(50代女性)

・給付金より、社会全体として教育費の補助、保育園の増設、一時託児所の活用などに使われてほしい。(40代男性)

・仕事との両立のために保育園もさることながら小学校に上がってからのことが心配です。学童保育の時間延長を希望します。18時終了ではなく、せめて19時まで。また、フルタイムの共働き家庭がどうしているのか知りたい。(30代女性)

・政権交代し、日本でやっと子ども手当で支給が実現する見通しとなった。自公独占政治では一部の特権階級のみ楽しんで旨いものを食っていた戦前同様。

・所得税・住民税負担を自らの選択により免れている、いわゆる103万以下の会社員妻が子を預けるための保育園拡充は絶対にやめるべき。みな収入が下がる中で、苦しみながら納税している。その上で保育園拡充であれば103万制度を撤廃し、みなが平等に税負担すべきである。そもそもこの不景気下、急に待機児童が増加した背景に天によるシングルインカムを後追いするパート・無職妻の税・保険料の優遇策がある。各家庭がリスクマネジメントを怠り、世帯主の収入減に即時対応不可能状況に陥る社会に区に自らが先導したではないか。取れるところから取るから、平等な税・保険料負担を望む。無職妻分は夫が住民税・保険料を負担すべきである。(女性)

・子育て支援で何かしているのでしょうか?何も見えません。(女性)

・教育は今の社会は政治家からTVに出演する人まで何でもありとなっている風潮があるが、やはり道徳観、子どもをあまり擁護しすぎないこと。基本的なモラルをちゃんと勉強させる。そのためには昔で言う軍隊ではないが、何か厳しい教育機関の導入は必要かもしれない。(40代男性)

・学校施設の有効活用を考えるべき。高齢者施設と組み合わせて考えるべき。(50代)

・もっとお金をつけて、きちっと対応する。(60代女性)

・不妊治療にお金がかかりすぎる。金のある人しか受けられない。子どもができないだけでも辛いのに……。出産予約の枠がすぐいっぱいになってしまう。里帰り出産なんてできるのかしら。品川区は産める施設が少なすぎる。保育園はすぐになんとかしてほしい。認可保育園の方が絶対良いが、まずは預けられる所がないと困ってしまう。西大井駅近くに住んでいるが、4月より認可に入れなかったら預ける場所がない。(女性)

・お金をばら撒くのではなく、ソフト面を充実させてほしい。出産(出産費用の無料化)や育児(保育園の増設)にお金がかからなければ、もっと産める人が増えるはず。(30代女性)

・今どき働きたいから子どもを多く産めないのが普通だと思うが、政府は専業主婦に手を差し伸べるばかり。経済的な負担だけでなく、男女の労働内容が近くなっているのに、共働きを前提としない育児支援は不平等で、非合理。とにかく働きながら子育てをできる環境を!! 幼稚園は延長できるのに……。(40代女性)

・未だ結婚も考えていないのであまり出てくることはないが、子どもが熱を出した、体調不良で保育園にいけなくても親は仕事を休んだりしないといけないときなどに会社も両親も

大変だろうと思うので、それになにか対策があったらいいなと思います。(30代女性)

・子育て支援をするのに財源をどうするのか、きちんと説明してほしい。説明を受けて納得した上で実現すべき。(20代男性)

・上の子どもが認可保育園にいますが、ぎゅうぎゅうで先生達が大変そうです。保育園を増設して、先生も増やしたほうが働く場も増えて良いと思う。(女性)

・現在子育て中の年代の友人がたくさんいますが、子どもが1才~1才半になると保育園に預けてパートにでる人の割合がとても高いです。しかもその理由が経済的な理由ではなく、子育て疲れや気分転換など、子どもと距離を置きたいなど、核家族で親子が孤立し、地域社会の交流の希薄からくる心の問題のようです。このへんの支援の充実は子ども達の成長に大切なのではないかと思います。(30代女性)

・働きながら子育てをしたいので、保育園に入れる状況であれば助かる。(女性)

・子は国の宝。子孫の反映なくして国の繁栄はありません!!父子・母子家庭や多人数の子どもがいる家庭は支えるべきです。私もそうでしたが、若い人たちに結婚や家庭を持つことに希望や夢がもてない世の中です。または家庭を持つことに臆病になってしまうのです。元気でパワーがある国の体制が必要です。(50代男性)

・いろいろ利用すれば、自分達の子どもですから親がしっかり子育てをしたら良いと思います。(60代)

・中小企業では出産と共に退社となっている所が多い。子どもを産んでも働き続けられるような社会保障を。(男性)

・街の年配の方を保育園の助手として支援してもらう方法は、若い人には知恵、子どもには協調性、年配の方には収入を。国、区の財源から考えては?(女性)

・子ども一人に対しての支援金額(手当て)を早く増やしてほしい。(30代女性)

・保育園を増やしても職員の質が悪かったら困ります。幼稚園と一体化し、教育の場にもしてほしいし、同時に母親・父親としての教育もする体制が理想だと思います(しつけはまず家庭でという意味)。(40代女性)

・給与が安い。(男性)

・日本の人口が減る中、女性がもっと労働力として社会に参加しなければ、日本の行く末が心配だ。(30代女性)

・離婚や同棲をしていますが、男性の収入だけで生活しなければいけない期間が生じてしまうのを理由に、子どもが作れないカップルがたくさんいると思う。それ以前に異性にアプローチできない理由に「貧乏」が挙げられている人もいると思う。若い世代の重労働、低賃金(貯金できない)が少子化の大きな一因だと思う。また若年層にとって家賃は大きな負担である礼金、更新料がなくなれば良いと思う。毎月の家賃に加えてこれらの金銭が自動的に大家さんにはいるという慣習はなくなったほうが良いと思う。(女性)

・娘が保育園に4歳児を預けていますが、体調が悪かったり微熱でも自宅待機になり、休職になります。その状況を何か改善の方策を考えてほしい。0歳児~3歳未満の保育料が高すぎ

ます。5万前後ですよ。(女性)

・大家族で暮らす。年寄りが子どもを育てる両親の手だすけができるようになり、子どももコミュニケーションが活発になったり、年寄りの知恵が活かされるのでとても良いのではないのでしょうか。(50代男性)

・亭主の所得だけでは生活ができないため、女房まで働きに出る。それが通常化されている。今日、共働きは半常識とされているが亭主の所得が安定すれば女房は家で子育て、家事ができて家庭というものが形成されていると考える。家庭でできる手仕事等を身につける仕組みはないのか、女と男の役割と家庭のあり方を真面目に考える時期が来ていると思う。(60代男性)

・私も男の子一人を育てて来ましたが学校(特に進学させる)非常に教育費はたいへんでした。なぜ学校の教育だけではなかなか良い中学、高校、大学が入学できないしくみなのか未だに疑問に思っております。(女性)

・子どもはもう高校生なので子ども手当は全くうれしくありません。私学に入学した家庭にとっては社会人となるまでの負担は高校に入ってからかなりあります。(40代女性)

・誰のため、何のための支援ですか?結果どうしていきたいのか。過程はどうだっていい最善の結果であれば。(男性)

・子ども手当をもう少し下げて企業などが活発になるように税金を下げた方が良くと思う。昔の人達は子ども手当がなくともきちんと育てていたので、今の人は贅沢だと思う。企業が元気ないと雇用問題が解決しないので優先すべきだと思う。(30代女性)

・公立の保育園は今、詰め込みです。もっと保育園を増して定員を少なくしてほしいです。(60代女性)

・将来、自立できる子どもを育てること。教育を含めて世のため人のために役立つ人間を社会に送り出す。(男性)

・両方すればよいのではないのでしょうか?(男性)

・区議会での最大会派の親分に次のことで見解を正させて下さい。虐げられている老人を見た若者、子どもたちがこの国のために頑張ろうと思うのか?未来に夢と希望を持てるのか?また、子どもは国の宝だということが解っているのか?(50代男性)

・不妊治療にもっとお金を補助してもらいたい。(30代女性)

・保育園などもそうかもしれませんが、中学・高校・大学とお金はかかる一方です。私立の学校ももう少し安く行けるようにしてほしいです。(40代女性)

・子どもの医療費が無料なので助かっています。(30代女性)

・子ども手当は現金ではなく施設の増設のほうが良いと思います。現金をいただいても景気対策にもならないと思う。

・民主党のバラマキ政策には反対。根本的な教育財政に税金を使うべきと思う(男性)

・新型インフルエンザで学級閉鎖になり、トータル7日間も仕事を休むことになり、大変困った(元気な子どもでも、すまいるスクールで預かってもらえず、自宅から一歩も出られな

かったので、親が休まざるをえなかった)。来年も同様の事態ならクビになってしまうかもしれないので、何かサポート体制を作ってください。(女性)

・本来子どもは家庭で育てるべきだと思う。(30代女性)

・認証保育所は労働者も子どもにも最悪の保育園です。今すぐに認可に移行させるべきだと思いますよ。

・国の定める子どもと保育士の人数に疑問を感じます。2歳児6名を1人の保育士では無理だと思いますが……。 (女性)

・日本の長期的成長のためにも、子育て支援をもっともっと充実させるべき。(20代男性)

・すまいるスクールは6時で終了であるが、小学校低学年は預かってもらえるところがない。作ってほしい。(40代女性)

・お金をバラまくのではなく、保育所を作るべきである。(40代女性)

・支援ばかりせず、まず給食費の未払い者の徴収をすべき。義務を無視してサービスを受けることばかりでは駄目。(60代)

・幼稚園の待機児童も増えていることをわかってほしい。保育園ばかりに目がいつていることに不安を感じる。(男性)

・現代は生む前に対策を練ること。地域のお母さん方と仲良くして遊ぶ。(70代男性)

・働かないと保育園に子どもをいれられない。いれられないから働けない。悪循環が黙認されています。失業後の再就職が難しい中、1ヶ月失業すると保育園を追い出そうとするなど、現在の制度は役所本位がまかり通り、不思議でたまりません。(30代男性)

・将来子どもを育てたいが、医療・保育施設の不足している現状では躊躇してしまう。(30代男性)

・現在の減収の状態では所得制限をつけるべき。理想はその後に。(60代女性)

・区の保育士の給料が高いから公立の保育所が開設できないのだと思います。もう少し区の職員の給料を削るべきだと思う。(60代女性)

・親への教育も必要。

・5年、10年後の人口構成を考慮して、安易に施設を増設すべきではない。(男性)

・子育ては誰でも苦しい、大変なこと。でも児童や高校の無料などナンセンスである。(70代男性)

・子どもがいないのでわかりませんが、子ども手当で等はいらないのでは?まず子ども手当でありきではないと思います。第一は保育園の増設(お母さんが安心して働けるように!!子ども手当よりこれが一番)。それと給食費を無料にする(子ども手当より大事だと思う。平等だし)。

・親の経済・精神的負担が大きすぎる。(30代女性)

・既存園の定員を増やすだけでは部屋数など施設条件が悪くなる。保育士の要請を短大だけでなく、成人を対象とした制度を設けるべき。(50代女性)

・定員を増やすと保育の質が下がってしまいます。保育士の仕事も増えます。もし定員を増や

すのなら、私立の保育士は給料も安いので上げてほしい。(30代女性)

・もっと地方に住むとタメになる子育て支援しろ。

・仕事の内定が出ていましたが、保育園の空きがなかったため内定取り消しになりました。認可、認証、無認可、全て空きのない状況でした。子どもはもう一人ほしいのですが、今の状況を考えるとなかなか難しいと思います。(30代女性)

・親の愛がとっても大切な時期の子どもを預けて仕事しなくてもいいような。お母さんが安心して家庭を守り、子育てもできるような世の中になるように。(60代女性)

・増設するために具体的な場所(例えば廃止になった幼稚園跡など)を提案して、住民(お母さんたち)の具体的な要求運動、陳情を組織しなければいけないと思う。学校の空き教室利用の場合は乳児(0~2歳児)だけまたは3~5歳児とか成長発達を考慮して。(女性)

・女性が仕事と育児の両立に悩まなくてもいいような社会体制構築。復帰支援・再就職斡旋の充実。(20代女性)

・本当に必要なのは、安心な環境があることかなあ……と思います。現実的に子育て機関の大変さ(経済的、体力的)を理解した上で働く。母親のための診療保育の充実等への支援があることを望みます。(30代女性)

・これからの子ども手当を含め、月に5000円の手当てや医療無料の医療券のときにうちの子(15歳)はいつも、まともな期間いただいたことがありません。途中からとかすぐ終わってしまうとか……。ただ中学までの医療券は助かりました。アトピー、睡眠障害のほか、幼児期は月に一度くらい夜間急患で受診し、点滴を風邪をひくとしてしまいました。今でもお薬をもらっているのでも6才くらいの時適応が切れた8ヶ月間くらいが3割負担で、大病院へも行っていて数万円かかりましたが、あとは本当に通院回数等も考えてコントロールせず受診できました。

・大型団地などでは住民の年金構成が長い年月で波が生じる。一過性の子ども増に対応すると数年後には減少することがある。中長期の子ども数予測も視野に入れて、施設を考えるべき。したがって、定員数などで対処するのが良いと思う。(50代男性)

・保育園の時期を延長するなどはきりが無いこと。子どもにも家庭にも負担です。それより、夕方、通常時間に帰宅できるようにすべき。(50代女性)

・子どもが結婚適齢期だが結婚もしない様子に映る。展望がない。

・地域で子どもを育てるという環境をもう一度考えてはどうでしょうか。

・品川区の産後ヘルパーを利用しました。「今度双子が生まれる家庭があつて忙しくて…」としきりに言われた。元気そうに見えても、子どもが一人でも大変な時はある。ヘルパーの質を向上させてほしい(プロ意識・コンプライアンス意識のある人を育ててほしい)。

・経済的に問題がある家族を重視すべき。(50代女性)

・企業によっては産休、育休がとれず、退職をすすめたりする企業があり、また女性の就業が上記の理由から不景気の影響もあり難しくなっていると聞きます。企業に対する監視、是正を促すべきだと思う。(20代女性)

- ・地域での子育て等、簡単に言うが、その方法、支援(経済的、人的等含めて)をどのようにしていくか、行政と地域が熟考する必要あり。
- ・子育てママが孤立しないようにしてあげたい。(60代女性)
- ・子どもがいる家族に区民住宅の入居を優先してほしい。品川区は家賃が高く、狭く、のびのびと家でも遊べるような賃貸があるといいです。(30代女性)
- ・作るのが難しいのであれば増員もやむを得ないができれば目の届く人数での認可を増やしてほしい。(30代女性)
- ・保育士の人数を増やすことが先だと思う。(20代女性)
- ・現金での子育て支援金はムダ。事務経費等、必要な所へ税金は使うべき。(60代男性)
- ・1人で育つわけではないので、時期がきたら社会の一員として協力体制と考える。
- ・子どもは、国の宝。どんどん支援すべき。(70代女性)
- ・区の認可保育園に入れなく、仕事をしたくてもできない若いママさんがたくさんいます。現在、仕事をしないと生活苦の人がたくさんいます。1日も早く保育園を増設してあげてください!
- ・本当は、旦那様の給与だけで生活して母親は子育てに専念したいけど、今の世の中は低賃金でそうはいきません。だから、しかたなく働きますがそうすると子どもとの時間が取りづらくなり、また仕事に疲れて帰ってくると、しつけとか道徳とかまで教育する気力がなくなってしまい、結果的に学校に迷惑をかける形になってしまっているのではないのでしょうか。学校に学力を教えることに専念するためにも、母親が仕事をしなくてもいい父親の収入にすることが、一番かと思います。一番お金がかかることが家賃なので、そこがなんとかなればだいぶ生活が楽になると思います。(20代女性)
- ・働く女性のためです。現在では、子ども2人以上育てることは大事だと思います。孫が保育園に通っています。若夫婦とも働いています(歩いて5分良好です)。
- ・向かい三軒両隣、老人パワーを考えるべき。
- ・国は本当に子どもたちのことを考えているのか、子は国の宝物なり。
- ・子どもが小さい時、病気ばかりしたので大変でした。今は中3まで医療費が無料でとても助かっていますが途中で何回も切れては。今年から小6まで、来年から中3までと切れた時が大変でした。(50代女性)
- ・虐待などの問題を含めて子どもと親の両方のケアが必要だと思います。正直自治体がどこまでしてくれる?できるのか?不安を持ったこともあります。当てにしていけないのだといいい自治体と個人をつなぐコーディネーターの必要性を感じるくらいです。
- ・子どもを産んだことがないから良くわからない。
- ・現金をばらまいてもそこには発展はない。必要な施設、病院等々を増設すべきで、それにより親も働きに出られ、税収も増え、社会が成り立つ。この当たり前のサイクルがなぜできないのか理解に苦しみっぱなしです。(60代女性)
- ・保育園不足というが、閉園に追い込まれている保育園も多いはず。そんな保育園に支援す

べき。新しく作るとまたお金がかかる。人を雇うお金がない保育園などに支援し、子どもが増えても対応できるようにしてほしい。新しい物をつくれば良いという考えより、今ある中でうまくいくようにしてほしい。保育士を目指している人はいっぱいいます。(20代女性)

・保育園に入所できるか心配。できないととても困る。(40代男性)

・自分たちでやらせろ。自分の子どもだから。(40代男性)

・昔、甥っ子が闇の保育園に預けられていました。経営者が暴力団、スタッフがフィリピン人、子ども同士のいじめ、手にやけど、ストーブに手を入れられたそうです。その後、認可された保育園に入れた時はほっとしました。

・いろいろ考えはありますが生涯一人暮らしをしていました。

・人に頼るな。(40代男性)

・経済的負担の軽減も必要だとは思いますが夫婦世帯で思恵の対象外なので素直に喜べない。まず教育費の無料化が必要だと思う。子どもの教育費にお金がかかるという声はよく耳にするので。(40代女性)

・待機児童の解消のためには今ある資源を使ってとにかく手当をしてほしい。小中一貫校のためにバンバンと新しい物を立てていくのに、今日の前で困っている働く親を守れないのはおかしいです。(50代女性)

・ヨコミネ式の学童保育を参考にしてもっと教育水準を上げるべきである。子どもの教育は国が責任を持って平等に子どもに対して付与するべきです。金持ちでない家庭に生まれても将来の可能性を見つけ出せるように高水準な教育を希望したいです。

・一番お金がかかるのが高校生からです。子ども手当もいいですが高校生や大学生にも手当や奨学金を増やしてほしい。高校授業料無料化ですが授業料以外にかかるお金がもっとあります。部活、定期、昼食代だけでも大変です。私立高校も無料化してほしい。(50代男性)

・父子家庭への支援が少なく友人が困っています。父子母子の差別なく支援してあげてほしいです。(30代男性)

・基本的に子育て負担は親がすべきものです。公立私立の選択(自分の経済状態により)、また、高校生・大学生になると親の経済力で自分で公立か私立を選択できる子どもに育ちます(経験上)。ゆえに個別負担でなく学校の設備費、給食費、図書費の方に向けてはいかがですか? 個別に支給していい子ができますか?

・共働きだが、会社が育児の大変さを理解してない。小さな子どものいる家庭の労働者を守る政策を実行してほしい。(30代男性)

・少子化問題はあらゆる問題の根源であり、その対策である子育て支援は最も重要であると考える。(50代男性)

・保育園、幼稚園浪人と言われるくらいの時代。増設し育てやすい良い環境を作るべき。遊具が公園からどんどん無くなり、遊ぶものがなくなっていく現状……。もっともっと遊ぶ場所を広くし大きい遊具を増やしてほしい。(30代女性)

・見当違いの支援をしていると思います。子育て手当てだけで済まさず給食費を無料にした

り、学校で使用する物品を上級生から下級生に渡す手段を考えたり、ものを大切に使うことを教える。人手がいますが精神面のケアが大切と思います。(70代)

・お金を投入しても一部の人達だけしか恩恵がなく、少しも実感がわかない。公営の料金の安い塾でも作ってほしい。